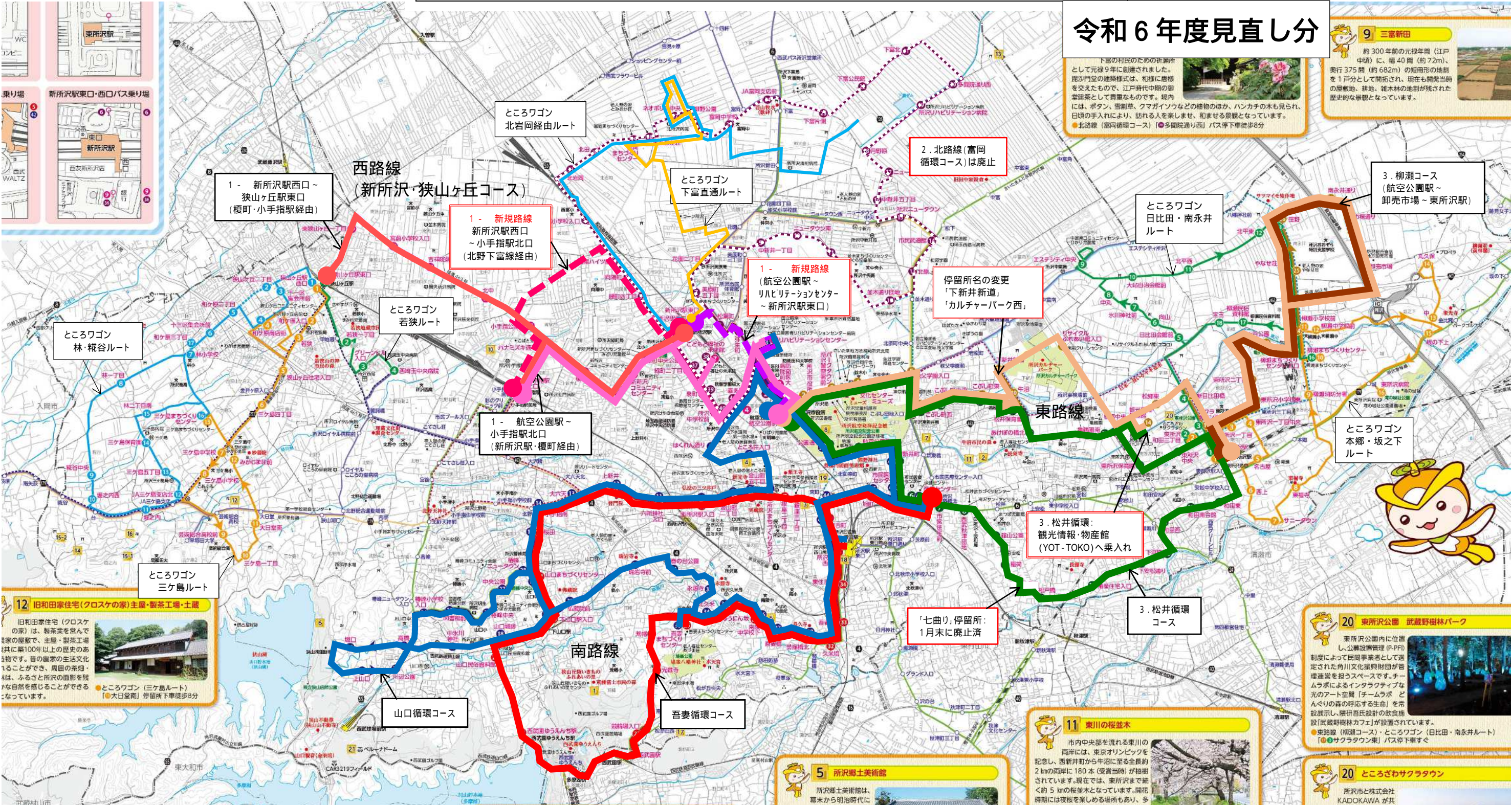


所沢市内循環バス「ところバス」新コース(案)



令和6年度見直し分

9 三富新田
約300年前の元禄年間(江戸中頃)に、幅40間(約72m)、奥行375間(約682m)の矩形的地割を1戸分として開拓され、現在も開発当時の原形地、耕地、雑木林の地割が残された歴史的な景観となっています。

下部の村民のための折衝所として元禄9年に創建されました。鹿沙門堂の建築様式は、和様と唐様を交えたもので、江戸時代中期の御堂建築として貴重なものです。境内には、ボタン、雪割草、クマガイソウなどの植物のほか、ハンカチの木も見られ、日頃の手入れにより、訪れる人を魅了させ、和ませる景観となっています。

- 北総線(都岡循環コース) ●多間院通り西) バス停下車徒歩8分

1- 新所沢駅西口～狭山ヶ丘駅東口(櫻町・小手指駅経由)

1- 新規路線 新所沢駅西口～小手指駅北口(北野下富線経由)

1- 新規路線 (航空公園駅～リハビリテーションセンター～新所沢駅東口)

停留所名の変更 「下新井新道」→「カルチャーパーク西」

3. 柳瀬コース (航空公園駅～卸売市場～東所沢駅)

ところワゴン 日比田・南永井ルート

ところワゴン 林・糞谷ルート

ところワゴン 若狭ルート

1- 航空公園駅～小手指駅北口(新所沢駅・櫻町経由)

3. 松井循環: 観光情報・物産館(YOT-TOKO)へ乗入れ

ところワゴン 本郷・坂之下ルート



12 旧和家住宅(クロスケの家)主屋・製茶工場・土蔵
旧和家住宅(クロスケの家)は、製茶業を営んでいた家の屋敷で、主屋・製茶工場共に築100年以上の歴史のある建物です。昔の農家の生活文化を感じることができ、周囲の茶畑・木、ふるさと所沢の風景を様々な自然を感じることができるとなっています。

- ところワゴン(三ヶ島ルート) ●大日堂南) 停留所下車徒歩8分

ところワゴン 三ヶ島ルート

5 所沢郷土美術館
所沢郷土美術館は、幕末から明治時代に

11 東川の桜並木
市内中央部を流れる東川の両岸には、東京オリンピックを記念し、西新井町から牛沼に至る全長約2kmの両岸に180本(受賞当時)が植樹されています。現在では、東所沢まで続く約5kmの桜並木となっています。開花時期には夜桜を楽しむ場所もあり、多

20 東所沢公園 武蔵野樹林パーク
東所沢公園内に位置し、公衆設備管理(IP-PFI)制度によって民間事業者として運営される公共施設です。チームラボによるインタラクティブな光のアート空間「チームラボ どんぐりの森の呼吸する生命」を常設展示し、原研哉氏設計の飲食施設「武蔵野樹林カフェ」が設置されています。

- 東路線(柳瀬コース)・ところワゴン(日比田・南永井ルート) ●サクラタウン東) バス停下車すぐ

20 ところざわサクラタウン
所沢市と株式会社KADOKAWAが共

は路線等見直しに係る変更箇所